

第3回横浜観光MICE戦略ミーティング 議事要旨

日 時：令和5年5月15日（月）14時30分～16時30分
場 所：市庁舎31階 レセプションルーム（一部オンライン）

事務局からの資料説明後、委員から意見聴取を実施しました。
議事非公開としたため、委員名を伏せて、発言要旨のみ公表します。

（委員発言要旨）

<まちづくり・魅力づくり・回遊性向上>

- ・観光とまちづくりを横断的に進め、観光客だけでなく、住む人や働く人にとっても、楽しめる観光政策を目指すべき。
- ・横浜の最大の魅力はクルーズ。地域全体でクルーズ客を迎え入れられるよう連携・強化が必要。
- ・都心臨海部のコンパクト性を生かし、移動手段の充実や公共空間の規制緩和等も進め、周辺の回遊につなげていくことが必要。
- ・MMエリアは音楽ホールが集積しており、今後、来街者が増え過ぎることを懸念している。MMエリア内の回遊だけでなく、周辺エリアに行けるよう、モビリティが必要。
- ・今夏、パシフィコ横浜で開催されるアートフェア「Tokyo Gendai」を起爆剤にさまざまな連携を進めていくべき。
- ・日産スタジアムがある新横浜エリアは、アクセスが向上しており、さまざまな既存施設もあるので、回遊コースをつくり、魅力ある回遊につながるとよい。
- ・宿泊数や滞在時間を延ばしていくためには、周辺地域との近隣連携が必要。

<DMO・推進体制・市民参画>

- ・DMOが観光まちづくりの旗振り役として、柔軟に事業実施できる推進体制が必要。
- ・DMOとして、多様な主体をつなぐハブとして役割を発揮していくことが重要。
- ・地域一体となった推進体制については、地域住民との共存が大事で、シビックプライドにつながるような取組を行っていくことが必要。
- ・観光の施策を進めていくうえでは、市民や企業の理解や参画を得ることが重要。
- ・戦略を具体的な取組に移していくことが大事。

<MICE>

- ・MICEはリアル参加をしないと味わえない体験価値を生み出せるかが重要。MICE主催者や参加者を飽きさせない魅力を絶え間なく創ることがポイント。
- ・MICE開催による社会的効果は主催者の関心も高い。MICE人材の輩出に期待。
- ・東京に新しい展示場が出来るなど、今後競争が激化する。都市間や海外との競争に負けないよう財源を確保していくことが必要。